

令和5年度の 決算を報告します

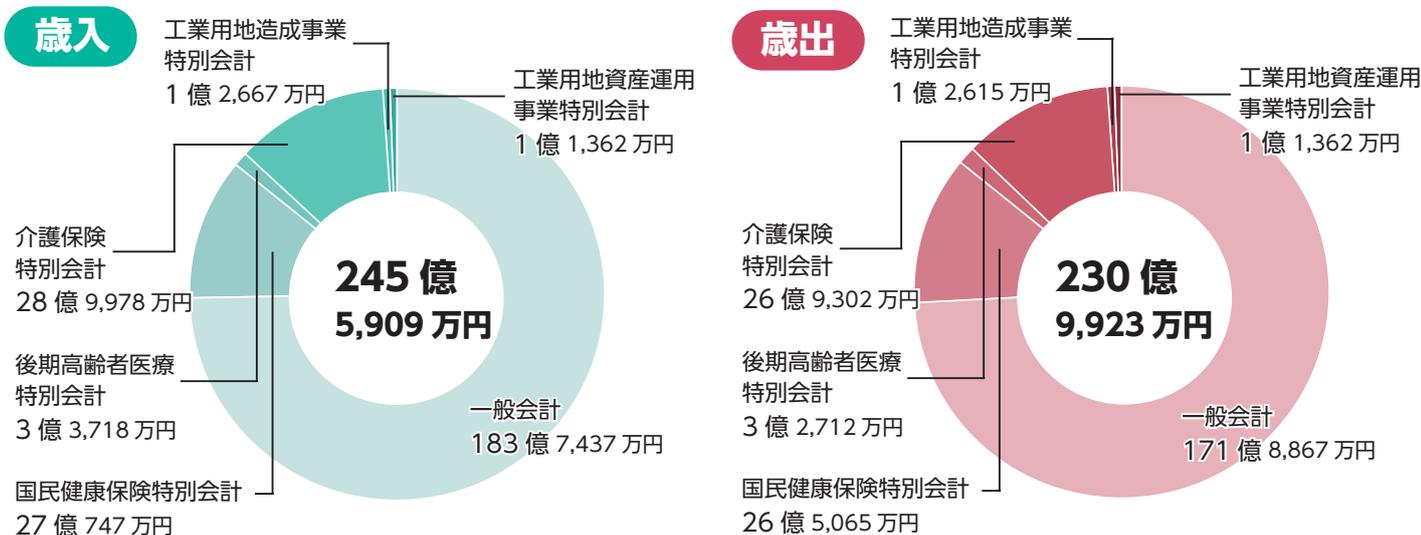
問財務部 財政課 ☎ 24-5305



詳しい内容は
市のホームページをご覧ください。

決算の概要（一般会計・特別会計）

企業会計の概要は上記 QR から市のホームページをご覧ください。



歳入
245億
5,909万円
-
歳出
230億
9,923万円
-
繰り越し財源
(一般会計)
2億 7,710万円
=

**実質収支額は
11億 8,276万円 で
黒字決算となりました。**

市の借金（市債残高）と貯金（基金残高）はどれくらい？

市債残高*	281億 9,048万円
うち実質負担額 (本宮市が負担する額)	226億 8,093万円

※残りの55億955万円は臨時財政対策債
(臨時財政対策債は、本来国から市に来るべきお金を国が用意できないため、市が代わりに借り入れるものです。返済分のお金は国が負担しています)

財政調整基金	13億 3,862万円
その他基金	16億 8,987万円
合計	30億 2,849万円

基金には、災害が発生したり、経済の急激な変化で税収が減ったりなどといった不測の事態に備えて積み立てている財政調整基金や、教育施設の長寿命化事業、市営住宅の維持管理など特定の目的のために積み立てている基金があります。

今後も健全な財政運営を行っていきます

単年度の収支状況だけでは、財政がどのような状態にあるかわかりません。そこで、市の財政運営に関わるすべての要因を含めて判断するために次の4つの指標を算出します。令和5年度決算では、4つの指標とも基準を下回りました。今後も事業の効率化を図り、健全な財政運営をしていきます。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づく指標		本宮市	本宮市の 早期健全化基準	財政再生 基準
実質赤字比率	一般会計の赤字の割合	0.0%	13.51%	20.0%
連結実質赤字比率	全会計の赤字の割合	0.0%	18.51%	30.0%
実質公債費比率	1年間の収入に対して全会計が返済する借金が占める割合	5.5%	25.0%	35.0%
将来負担比率	財政規模に対して全会計の将来に負担が見込まれる負債の割合	66.6%	350%	